

## 原子力学会誌「ATOMOS」連載講座の進捗状況

国枝 賢 (JAEA)、9/14/2017

原子力学会事務局から当部会に対して原子力学会誌「ATOMOS」連載講座の執筆掲載に関して打診があった。当部会運営委員会において検討を行った結果、下記の理由により引き受けることを決定した。

- － 核データ研究の意義を広く理解してもらうためのチャンスである。
- － 学生へ核データ研究の魅力を伝える絶好の機会である。

下記のタイトルにて、計8回を予定（間も無くスタート、来月？）。

### 第1回 「多様化する原子核工学と核データのニーズ」提出済

須山賢也、深堀智生、国枝賢 (JAEA)、千葉豪 (北大)

### 第2回 「共鳴領域における核データ測定と理論解析」提出済

木村敦、原田秀郎、国枝賢 (JAEA)、片淵竜也 (東工大)

### 第3回 「核分裂データの最前線：実験と理論」提出済

西尾勝久 (JAEA)、千葉敏 (東工大)

### 第4回 「核図表 – 壮大なる原子核の地形図 – (仮)」

小浦寛之、飯村秀紀、湊太志 (JAEA)

### 第5回 「高エネルギー領域への挑戦 (仮)」

執行信寛 (九大)、岩元洋介 (JAEA)、・・・

### 第6回 「IAEAの核データ事業」ほぼ済

大塚直彦 (IAEA)、河野俊彦 (LANL)、大澤孝明 (元・近大)、国枝賢 (JAEA)

第7回 「核データの利用のために - ミクロからマクロへの橋渡し - (仮)」

多田健一、今野力、横山賢治 (JAEA)、小迫和明 (清水建設)

第8回 「核データライブラリ JENDL の進化」

岩本修、柴田恵一、岩本信之 (JAEA)、千葉豪 (北大)

(執筆者敬称略、また下線は各回のリーダー)

以上、